OH-YABU NEWS LETTER

VOL.21　発行人：株式会社大藪組
2019　冬号

こんにちは、大藪組です。年の瀬、忙しいシーズンの到来です。風邪や流感または暴飲暴食など、さまざまな体調管理キーワードが飛び交います。ダイエットの成功者が、先輩をダイエット指導してふたりして痩せている現場事務所もあります。程よい断捨離と無欲、カラダリセットの為には必要だなあ、と思って眺めています。さあ、どこまで絞れるか！？

さて、記事にも書いていますが、TOKYOオリンピック・パラリンピック2020のこの年に創業130周年を迎える大藪組です。『あそこに看板があがってるね』『おっきな現場のごたるね』なんて、此処其処で声かけをしてもらえます。そうやって皆様の目に映っていることが励みですし誇りですし、益々もってこれからも技術と信頼の提供を続けていきたいと思います。

株式会社大藪組
ニュースレター係

～工事の現場から～　file＃18

1級土木施工管理技士
現場代理人　**井手口　裕　さん**

工 事 名 ： 平成29年度 起工第011-00-01号
　　災害関連緊急治山事業
　　竹地区1工区治山工事(谷止工)
工　　期 ： 2019年8月5日～2020年3月23日
発 注 者 ： 福岡県朝倉農林事務所

朝倉郡東峰村大字宝珠山字竹地区。こちらでは堰堤の築造工事が行われています。「堰堤(えんてい)」とは？土石流が発生した時、大きな岩・流木などを受け止めることにより、その下の地域を災害から守る働きをする工作物。現在は堰堤が出来る部分の掘削がほぼ完了し、その高さ、なんと約23m！私も梯子を４台、上まで行かせてもらいましたが、高い！下に残った取材班の相方がかなり小さく見えました。見えるかな？→

山の工事での難しい点を聞いてみると、道中が狭くて勾配がキツく、標高が高いので天候が変わりやすく、雨やこれからの時期は雪の影響が出てくるところかな、と。

特に、傾斜部分で作業をするため、とても高度な重機の操作技術が必須だという山の仕事。「熟練の技を持つ信頼厚い職人さんがいてこそこの工事は成り立つ」と井手口氏。職人さんの技術力次第で、工期が全く変わってくるというのです。そんな熟練の技を持つ職人さんに尋ねてみると「上から下を覗くと俺も怖かよ。でも、重機に乗ったら平気！度胸と長年の経験。」とのこと。実際に現地で山の傾斜や高低差を目の当たりにした我々は、やはり職人さんはすごいな～と感心しっぱなしでした。土木工事の現場は我々も体感する機会が少ないので、新たな発見がたくさんありました。災害が頻発するようになった昨今。被害が大きくならないように防ぐためのこのような工事をさせていただくことに、使命感と誇りをもって取り組んでまいります。

自然の脅威　／　出動要請

台風15号、19号の影響は多くの地域に甚大な被害を及ぼしました。また、その後の10月25日の大雨による浸水被害の影響の広さに、なお一層自然災害の恐ろしさを見せつけられました。

そんな中、わが社にも緊急の出動要請があり、10月21日早朝、被災地に向けて6名が出発。目指すは茨城県の河川事務所。先発の業者さんと引継ぎで、国土交通省九州地方整備局筑川河川事務所所有の排水ポンプ車による、水の引かない地域での排水作業を行うためです。

今回の災害に対して、全国に配備されている排水ポンプ車89台が関東地方に集結され、対応にあたったとのことです。

排水ポンプ車にて排水作業中

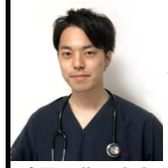
今回使用したのは国土交通省所有の排水ポンプ車。荷台に発電機、排水ポンプ、排水ホースなどを装備し、なんと1分間に30ｔもの排水能力を備えた、浸水被害発生時に迅速な復旧活動を行うための車両です。

現地では、浸水の被害の深刻な千葉県佐倉市に派遣され、浸水地から川へ水を戻す作業を担当しました。下流にある湖沼の水位上昇などにより思うように作業が進められないもどかしい場面もあったと言います。

今年は台風の多い年で、各地で被害が報告されました。本当に他人ごとではないのだなと、防災に対する意識を改める必要性を感じました。
一日でも早く復旧が進み、生活が穏やかになりますことを切に祈ります。

いってみよ！ New Open　ルカどうぶつ二次診療クリニック　院長　柴田 光啓さん

福岡市西区の小高い丘に、この冬動物病院がオープンします。その名は『ルカどうぶつ二次診療クリニック』。わが社で新築工事の施工をさせていただきました。『二次診療』いうことばを皆さんご存知ですか？我々も初めて耳にしたキーワード。ホームドクター（主治医）より紹介を受け、より専門的な診療を行うことを意味します。



院長　柴田先生

web➡

こちらのドクター柴田氏は脳や脊髄など、神経系の病気（犬・猫のてんかん発作、椎間板ヘルニア、脳腫瘍、脳炎など）での実績を積まれてあり、福岡ではまだ数少ないMRI完備のクリニック。動物医療の高度化に向け前衛的にお取組みされています。打合せ中から、静かで強い意志をもち動物医療に真摯に向き合われる姿が印象的でした。

今後は外科・循環器科・皮膚科などの分野とうまくリンクし合い、地域とともにチームを組んで病気と向かい合うことを目標とされています。

取材班も勉強になりました。ペットの重い病気もあきらめずに救える時代になってきています。☆はやくよくなれ　にゃんにゃんワンワン☆

↓ 先生と外壁にペンキを塗りました☺

設計・監理　株式会社CAGE

●住所　福岡市西区愛宕2丁目20-3
●連絡先　092-894-2211
（はやくよくなれ　にゃんにゃんわんわん）
●診療時間　9:00-17:00
●診療科目　神経科内科・神経外科
　総合診療科
●web　http://luca-arc.com

大藪組のこんなこと、あんなこと

今号では、大藪組内部のお話を少し。こんな取組みや行事があります！ということをご紹介します！

月初めの営業日には安全祈願！

毎月第一営業日には安全祈願のため水田天満宮へ。おおよそ20名ほどの社員が集まり、みんなで工事や交通の安全をお祈りします。夏場は清々しい朝の空気で晴れ晴れとした１日をスタートしますが、6:40の開始ということで、さすがに冬場はこの暗さ💧

今月もまた、合言葉は、**ご安全に！**

誕生日の月は社長とランチ！

月の後半になると、その月の誕生日の社員たちと社長がランチに出かけます。わが社には「社長室」なるものがありません。社長もいつも同じフロアに居るので、他の会社さんよりはお話しする機会も多いかもしれませんが、この日は仕事に関係ない話、家族の話や趣味の話など、色んなことを話します。面白い制度だなと思います。誕生日のメンバーによって、行くお店の決め方などにも差があって、人数の多い月はまとめるのも大変…。月ごとの個性も面白みの一つです。

明治23年に創業しました弊社は、**令和**元年10月1日をもちまして創業130年目を迎えました。

おかげさまで 130 周年 感謝

土木建築請負業としての始まり。**大正**を経て**昭和**20年に組織を変更し、株式会社に。**平成**4年に創業100周年記念事業として本社屋を現在の長浜に新築し、北長田から移転。そして、現在に至る。

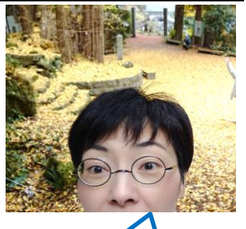
明治から始まった弊社の歴史は、皆様のご支援のお陰で、５つ目の時代を迎えることが出来ました。

今後とも宜しくお願い致します！

OH－YABU人

おーやぶじん　file.21

今回は、建築営業部の元気印！大きな目と弾ける声が目印！二児の母。パワフルに働くかあちゃん社員の紹介です。



馬場（ばば） 多恵子（たえこ） さん

- 生年月　昭和51年11月
- 出身　久留米市
- 入社年　平成18年7月
- 資格　宅地建物取引士・ｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ
- 愛称　たえちゃん・馬場君・ばばりん
- 座右の銘　人生は果てしない宝探しの旅
- すきなもの　ﾊﾟﾝの耳・ｸﾘｽﾋﾟｰ・ｽﾊﾟｲｼｰ
- 休日は？　海か山か温泉か本屋
- 特技　下手すぎること・不器用すぎること
- 最近ハマっていること！
  無垢材家具屋さんに本棚をオーダーしました。
  少しずつ、お気に入りの世界文学書棚を整えます。
  世界旅行には行けなくとも、タイムマシンのような時空を超えた各国（妄想）世界旅行を楽しみます。

仕事に燃える営業部員。その元気で、良い方向に変えていくぜ！という姿勢にいつも圧倒されます。家庭に仕事に大忙しの毎日の中でも自然が大好きな山育ちの馬場氏は休日も活動的。

眼鏡とショートカット FOREVER☆

大藪組はでんな会社かな？
そんな時はホームページやSNSをチェック！

おかげさまで
創業１３０年
お客様に感謝します

〒833-0005　筑後市長浜2043番地の1
0120-434-892
株式会社大藪組